



えとう たつ や
衛 藤 竜 哉

市民病院の現状は

～患者が徐々に増えてきています～

質

受診者数や入院患者数の推移は。

答 病院事務長

外来患者数は月当たり約573人増加し、入院患者数は、6カ月間で6666人増加しています。

三重診療所は、1日当たり平均患者数は11・7人で、現在は内科医での診療を行っています。

質

院内外の施設などの整備は充分か。

答 病院事務長

病院統合事業で高性能の医療機器をいくつか導入していますが、今後も高度な医療技術を提供するために、計画的に整備していきます。

質

コミュニティバスや幹線かんせんの公共交通機関の見直しを含め、実証実験中と認識しているが、その経過と検証は。

答 病院事務長

犬飼駅と市民病院を結ぶ路線バスの実証運行をしています。

乗降調査じやうりやうさぎを行いました。乗降調査を行いましたが、利用者が少なく、また周知などが充分とは言えないことから、本年9月まで引き続き乗降調査を行います。



豊後大野市民病院



市民病院発～犬飼駅着

行革も大事だが核となる施設の整備計画を

～可能な限り整備に努めてまいります～

質

公共施設の見直し、「第3次公表」に示されている削減や縮小だけでなく、施設によっては、中・長期的な整理や整備計画を立てる必要があると考えるが伺う。

答 市長

これまで臨時交付金などを利用して整備してきました。

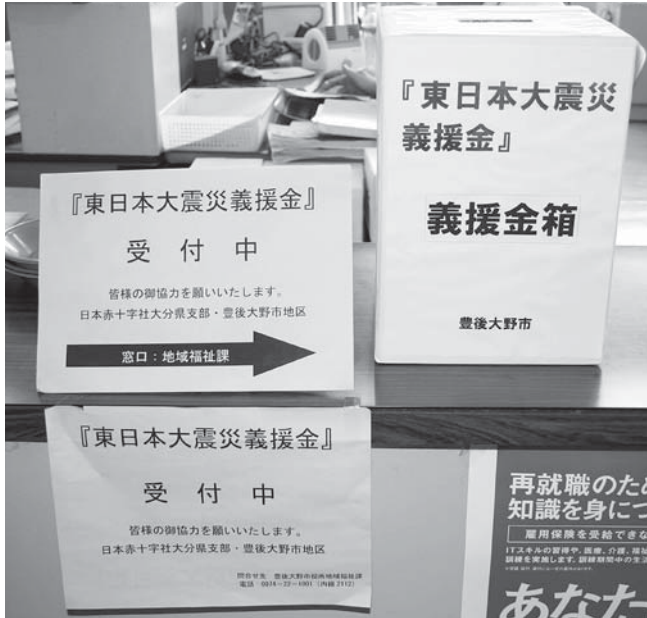
今後も市民の健康や生きがいづくりの拠点施設として、整備を図る必要があると認識しております。

東日本大震災に関連して

～防災計画の見直しを図る～



あか みね けん じ
赤 嶺 謙 二



質 市が把握している義援金の件数と金額は。

答 市長
6月17日現在で、166団体、1677万4020円、個人528人、993万3090円、本庁と支所の募金箱に305万3500円、総額2976万610円となっております。

本庁舎に設置している義援金箱

質 福島第一原発の事故により、脱原発の動きが強まっている。電力を消費している私たちにも、節電に対する覚悟が必要と思うが、考えは。

答 市長
現在の地域防災計画は、合併1年目の平成17年11月に策定されています。東日本大震災を教訓に、国は本年の秋をめぐりに防災基本計画の修正に取り組んでいます。本市も「地域防災計画等再検討委員会」を設置し、国・県の見直し後の計画と整合性をとり、防災会議を経て、本年度内に見直したいと考えます。

質 本市の防災計画は万全か、見直す必要はないのか。

答 市長
今回の事故については、原発中心のエネルギー政策を、根本から見直さねばならない重大な事故と考えています。節電については市報、ケーブルテレビ、地域での学習会などで啓発を行ってまいります。



宮城県石巻市の被災状況（派遣職員撮影）

質 市職員のボランティア休暇は、最長5日となっている。休暇の拡大は。

答 市長
人事院での今回の特例（7日）を参考に、検討したいと考えています。